

令和5年度

**札幌市地域スポーツ活動モデル事業
(中学生・高校生合同 バドミントン練習会)**

報告書

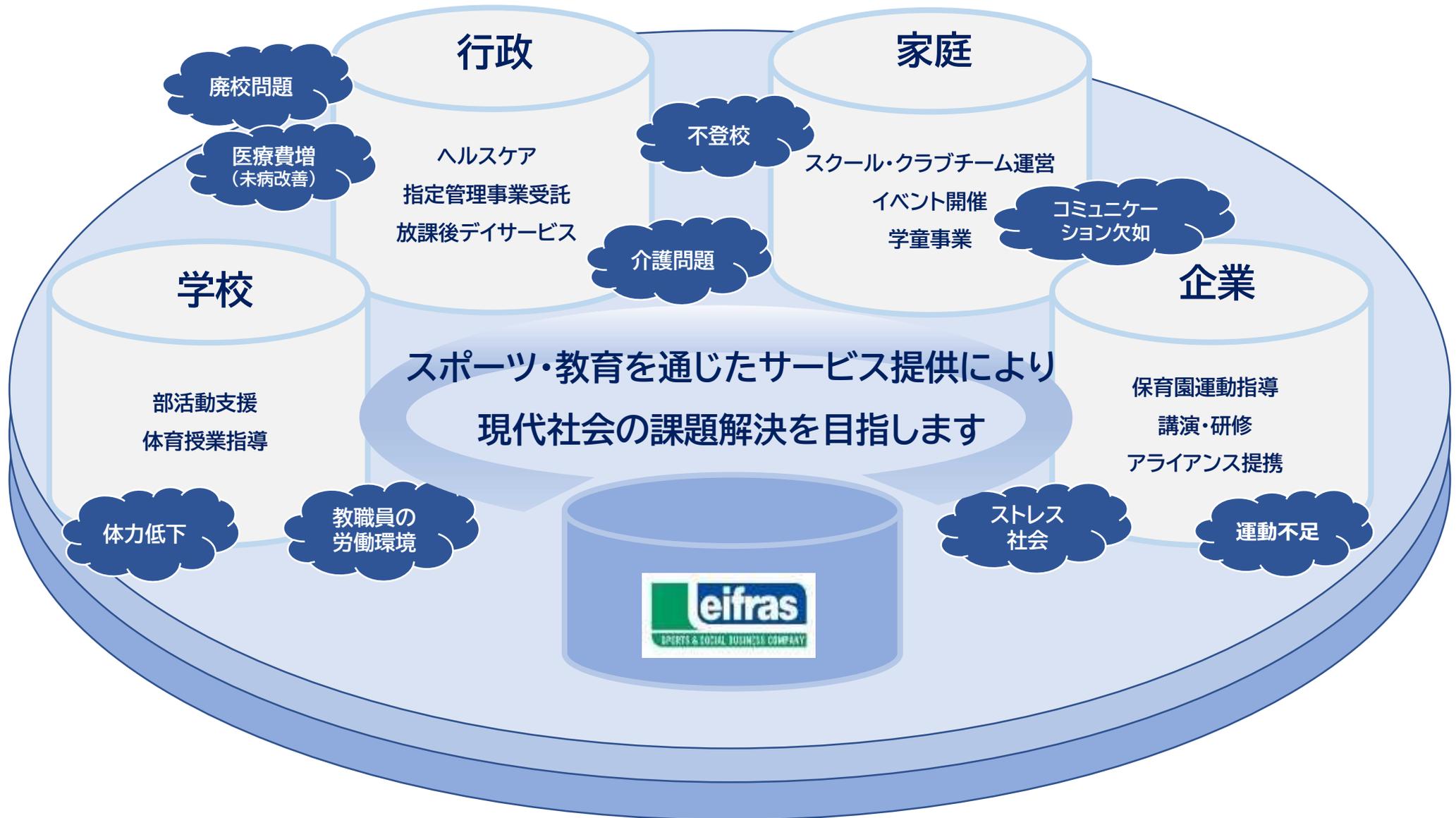
1	運営団体について	P. 3～8
2	R5年度のモデル事業に関して	P. 9～15
3	実施状況の総括	P. 16～22
4	アンケート結果について	P. 23～32
5	今後の検討事項とまとめ	P. 33～36

1 運営団体について

社名	リーフラス株式会社(英文社名: LEIFRAS CO.,LTD.)
会社設立日	2001年8月28日 創業24年目
代表者	代表取締役社長 伊藤 清隆
資本金	126,000,000円(資本準備金含む)
本社所在地	東京都渋谷区恵比寿4-20-3恵比寿ガーデンプレイスタワー17F
従業員数	4,211名(2024年2月1日時点)
子会社	北海道十勝スカイアーススポーツ株式会社(サッカーチーム運営) リーフラストラベル株式会社(旅行業) 株式会社アピコス、株式会社LEIF(学童保育事業) 地域共動株式会社(社会事業)
認定	東京都スポーツ推進企業(東京都) スポーツエールカンパニー 認定企業(スポーツ庁) Sports in Life 認定企業(スポーツ庁) 経済産業省主催【地域×スポーツクラブ産業研究会】の委員会に参画

1. 運営団体について

ソーシャルビジネス系統図 (社会課題とステークホルダーとの関わり)





- ・子供向けスポーツ教室
- ・小学校体育授業指導員派遣
- ・障がい者とのスポーツ交流
- ・スポーツ国際交流イベント
- ・高齢者介護予防施設への指導
- ・親子向け遊び方講座
- ・幼稚園教諭向け指導研修
- ・スポーツ少年団保護者対象研修
- ・幼児向け発育促進教室
- ・スポーツ施設指定管理 ※1

- ・プロスポーツチーム提携イベント
- ・トレーニングマシン指導
- ・総合体育館運営受託 ※2
- ・ママ向けエクササイズ
- ・オンライン運動教室
- ・スポーツ大会企画運営
- ・中高部活動支援
- ・スポーツ普及イベント企画運営
- ・スポーツ家庭教師
- ・自治体への人材派遣



※2 黒松内町総合体育館 運営受託

※1 室蘭市祝津サッカー場 指定管理
【リーフラスフットボールパーク】

1. 運営団体について

部活動推進事業 実施工エリア

【部活動推進事業実績エリア】

北海道 宮城県 新潟県 茨城県 福井県
東京都 神奈川県 埼玉県 愛知県 京都府
大阪府 奈良県 兵庫県 福岡県 大分県

大阪・近畿支社

【地域部活動推進事業】
京都府京都市
兵庫県神戸市

【自治体主導事業】
奈良県
大阪府八尾市
大阪府大阪市

【独自モデル事業】
奈良女子大（奈良）

九州支社

【独自モデル事業】
常磐学園（福岡）
プロ野球OB会（福岡）

【地域部活動推進事業】
福岡県福岡市
大分県別府市

北海道支社

【部活動支援】
北海道札幌市
北海道石狩郡当別町
北海道寿都郡黒松内町

東北支社

【地域部活動推進事業】
宮城県
宮城県白石市

北関東・磐越支社

【自治体主導事業】
茨城県

【部活動支援】
新潟県三条市

【部活動コーディネート】
福井県

東京支社

【自治体主導事業】
東京都港区
東京都杉並区
東京都世田谷区
東京都渋谷区
東京都千代田区

【独自モデル事業】
聖学院中学高等学校

東海支社

【地域運動部活動】
愛知県名古屋市

【自治体主導事業】
愛知県名古屋市（小学校）
愛知県（高等学校）

関東支社

【地域部活動推進事業】
神奈川県横浜市

中四国支社

協議中

受託校数

1,346 校

受託エリア

北海道	16校
宮城	14校
新潟	1校
茨城	1校
埼玉	16校
神奈川	13校
千葉	10校
東京都	278校
愛知県	927校
石川県	2校
大阪府	24校
奈良県	3校
京都府	8校
滋賀県	2校
兵庫県	10校
香川県	1校
福井県	7校
大分県	13校

対象校

小学校	932校
中学校	391校
高一貫校	11校
高等学校	11校
大学	1校

種目

サッカー	陸上
バスケットボール	バレーボール
バドミントン	準硬式野球
剣道	野球
ソフトテニス	卓球
ハンドボール	総合運動
音楽	吹奏楽
器楽	器楽
和太鼓	合唱
鼓笛	ブラスバンド
ポッチャ	将棋
パソコン	硬式テニス
フェンシング	女子ラグビー
社交ダンス	3×3(バスケ)
英会話	プログラミング
なぎなた	セーリングヨット
ダンス	水泳
ボウリング	料理
スイーツマイスター	チアリーディング
ヒップホップ	柔道

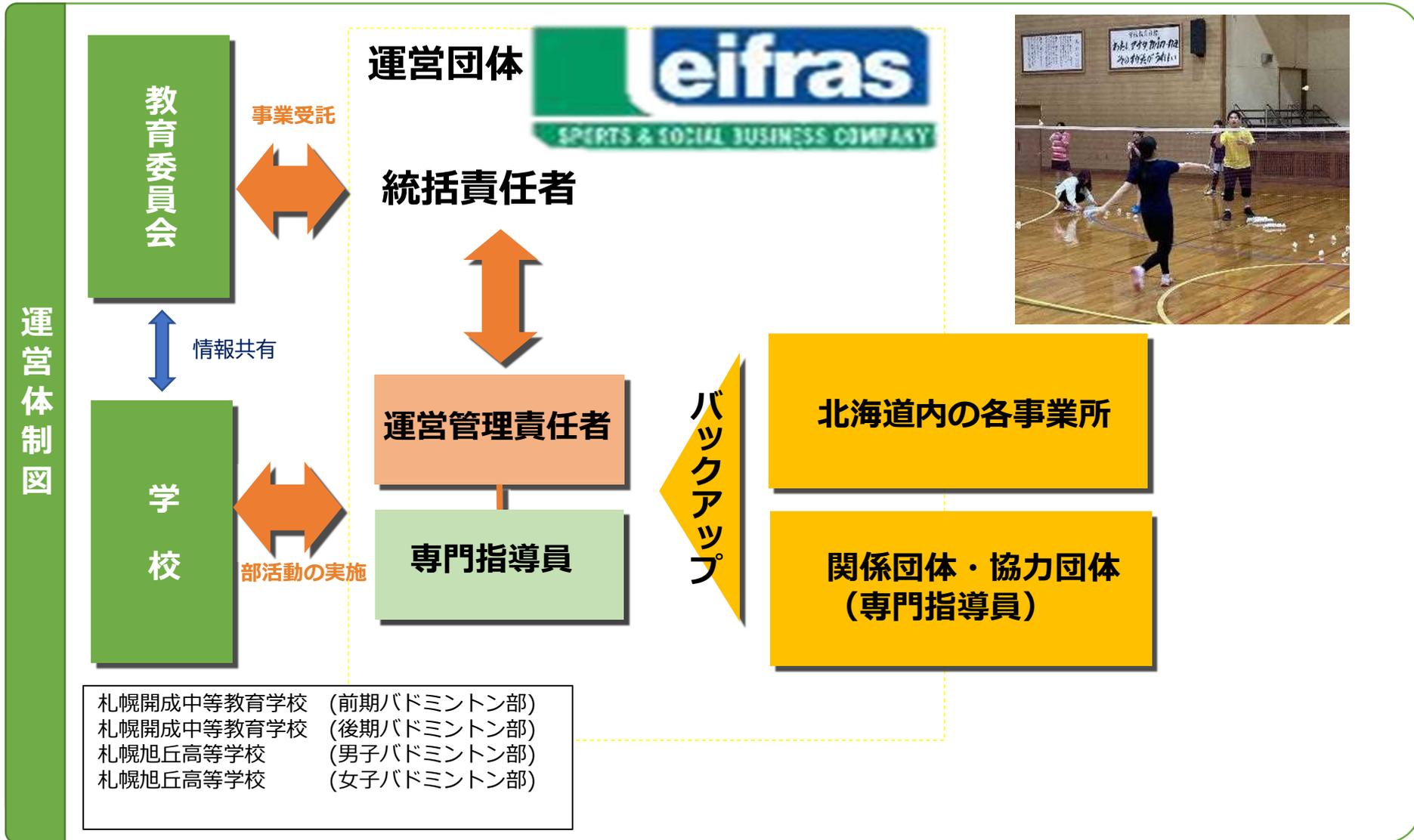
※1校あたり多数の種目で実施しているため、導入校数とは異なります

※上記数値は、2024年1月現在の累計数となります



2 R5年度のモデル事業について





配置計画

◆ 人員については運営管理責任者(1名)・専門指導員(2名)の原則3名を配置し、実施日には、安全かつ適切な部活動指導が遂行・運営ができるような体制を確保いたしました。

◇ 運営管理責任者については、現場にて責任をもって対処できる職員(管理職以上)を配置し、活動時間中、運営管理責任者が常駐する体制といたしました。

◆ 専門指導員の欠員、もしくは責任者に急なトラブルがあった際は、弊社近隣事業所と連携、サポートを要請することで人員補充にて対処できる体制を整備いたしました。

雇用

◇ 部活動指導を希望される方は、弊社の採用方法に準じ選定を実施いたしました。

※ 現職員が希望の場合も統括責任者・運営管理責任者と面談を実施。

◆ 現教員の方より希望がありましたら、兼職兼業の対応後、弊社職員として雇用いたしました。

◇ 急遽の不足人員に関しては、弊社社員にて補充します。その際、種目指導において現場経験のある指導員を配置いたしました。

◆ 新規で採用した人員に対しては、弊社の研修プログラムを実施後に現場へ配置いたしました。

研修・教育

- ・ 運営業務や生徒対応を問題なく行えるよう、教育マニュアルを導入するとともに、定期的な研修・教育を実施いたしました。
- ・ 多数の事業を実施してきたノウハウをもとに、各事業実施及び運営の安全マニュアルを完備しております。マニュアルの読み合わせや応急処置テストを通して、応急処置や救急搬送が必要な際の対応フローを全員が徹底できる教育を実施いたしました。
- ・ 声掛けや指導の仕方等、教育的側面を強化する研修を実施いたしました。
- ・ 万が一の事故発生時には、生徒の安全確保、被害の拡大防止や関係各署への連絡等迅速に対応できるよう、連絡体制の確立、周知徹底を図りました。

要望への対応

- ・ 現場教職員や保護者からの要望は貴重な情報源であるとともに部活動への期待の表れであるという姿勢で、迅速かつ丁寧な対応を実施いたしました。
- ・ 保護者からの問合せが来た場合には、組織内で随時報告するとともに適切に記録の保管を実施いたしました。



安全管理体制

下校時間	活動終了後、速やかに下校するように指導致します。 ※活動日時は前月25日を目途にご周知いたします。 ※時季や当日の授業時間によって変わります。
熱中症対策	【全体】 熱中症計にて、活動前後にWBGTを測定し、WBGT31以上で活動を中止します。高温注意情報が出た場合なども現場の状況で中断又は中止の判断をします。また、熱中症予防として、こまめな休憩・こまめな水分補給等を促します。 ※WBGT(暑さ指数)：①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温による、熱中症を予防するために取り入れられた指標 【個々】 生徒の顔色、汗のかき方などから、体調を判断します。
けが、体調不良者	安全な場所で休ませるなど状況に応じた対応をし、保護者に連絡します。 【重度の場合】 救急車にて病院に搬送します(運営スタッフが同乗)。活動は中断又は中止します。
気象警報、災害	【暴風・大雨等】 (1)活動の1時間前に下記警報等が解除されないときは活動を中止します。 →暴風・暴風雪警報、特別警報、避難指示(緊急) ※解除された場合も状況を学校と相談の上、活動の実施又は中止を判断します。 (2)活動実施中に上記警報等が発表・発令された場合は、活動を中止し、状況に合わせて解散します。 (3)天候の急変等は適宜、天気予報を確認し、状況に合わせて活動の中止や再開について判断します。 (雷鳴が聞こえる場合は児童を安全な場所に避難させます。) 【地震】 生徒を安全な場所まで避難させ、状況に合わせて活動中止等を判断します。震度5強以上の場合は活動中止します。 【その他】 光化学スモッグやPM2.5発生時等は、状況に合わせて活動中止等を判断します。
インフルエンザ	札幌市立学校における対応に準じます
コロナ対策	
保険加入	活動に参加するには、民間保険への加入が必須となります。 ※御家庭の費用等のご負担は一切ございません。別紙資料参照
運営体制	専門指導員が1名と部活動運営責任者1名の2名で現場の運営をいたします。

安全管理体制には十分に配慮した体制の構築

現場へ配置する職員は救命講習を毎年受講修了しており、定期的に安全研修を受けております。活動会場近くの避難場所、病院情報等把握をしており、緊急時も適切な対応ができるよう備えております。

「今年度の事業においても大きな事故や怪我等はありませんでした」



実施する研修に関して

	内容	頻度	実施者
社内安全研修	・専門家による講話	1か月に1回	運営会社
	・全国の事例共有	メール配信	運営会社
救急救命講習	・消防へ依頼して実施	1年に1回	消防署

安心・安全における主なポイント

- ・ 専門家監修の各種マニュアルの完備
- ・ AED、熱中症計の導入
- ・ EAP（緊急対応計画）の作成
- ・ 災害時伝言板の運用
- ・ 視察、監査
- ・ 個人情報の管理徹底



3 実施状況の総括

札幌開成中等教育学校 前期バドミントン部

登録部員数：43名(中学1年生～中学2年生)

今年度より初めて指導にあたらせていただきました。平日の活動ではキャプテン中心にメニュー案を作成し進めており、そのメニュー案の改善案を求めていたこともあり、休日の練習会では、平日の活動にも活かせるようなメニューを中心に取り入れながら活動していきました。

楽しい雰囲気強調した練習が生徒たちは特に好きで、笑顔で練習に取り組んでいる様子がとても印象的でした。反面、基礎練習のような繰り返し行う練習はあまり好きではない印象だったため、『バドミントンの試合を楽しむための基礎練習の大切さ』を伝えてからは、嫌な顔をせず、基礎練習に励んでくれており、とても成長を感じた。

札幌開成中等教育学校 後期バドミントン部

登録部員数：40名(中学3年生～高校2年生)

今年度より初めて指導にあたらせていただきました。高校生中心のメンバーということもあり、様々な面で自発的に活動することができていたため、指導者の立ち位置としては、活動の進行をすることはもちろんではあるが、個別にアドバイスを求めてきた生徒に対し、個別対応指導を行っていくことが主でした。

また、指導者と生徒がトレーニングマッチを行うこともあり、間近でハイレベルな技術を見ることができ、自身のレベルアップに繋がることもあり、それを食い入るように見ている生徒たちがとても印象的でした。

そういったところから生徒たちと指導者の中で信頼関係が芽生え、指導者からの生徒への内面的な指導があった際には、生徒たちの心にしっかり響いていたように感じる。

札幌旭丘高等学校 男子バドミントン部

登録部員数：15名

今年度より初の実施校。スタート当初は、こちらに対して少し警戒心を持っている感もありましたが、時間が経つにつれて、指導者と生徒との信頼関係も構築されてからは、指導者に対して個別にアドバイスを求める生徒が増えてきた。そのようになってからは、指導者の技術的指導や精神面的な指導に対しての生徒たちの反応があきらかに変化し、その生徒たちの変化に、指導者もとても嬉しそうな様子でした。

『楽しむところは多いに楽しみ』、『やらなければいけない場面では真剣に！』というマインドを意識し活動いたしました。その部分の力の持っている生徒たちです！今後の活躍が楽しみです！

札幌旭丘高等学校 女子バドミントン部

登録部員数：25名

今年度より初の実施校。今まで生徒が行ってきたやり方を基本的には大切にしながら、新しい変化も加え、平日の練習にも活かせるような指導を中心に実施いたしました。技術指導以外での部活動内での悩みや難しさなど、人間性の部分での指導機会もあり、生徒の様々な成長を見ることができました。

また、当日の引率は叶いませんでしたが、1月に【北海道高等学校 新人バドミントン大会 兼 全国高等学校選抜バドミントン大会 南北海道予選会】に出場！残念ながら1回戦敗退となりましたが、北海道のトップレベルを肌で感じる事ができた生徒たち！今後の活躍が楽しみです！

R5年度もモデル校2校4部活の地域スポーツ活動を実施いたしました。

10月～2月までの5か月で「約78時間」の活動を通して、実態の異なる各学校の部活動の特色にあわせた運営、昨年度の事業での経験をいかした工夫等、これまでの積み重ねを踏襲して事業を展開いたしました。

また、モデル事業としては、高校生の指導は初となり、運営管理責任者としても指導者としても、今後の部活動支援事業の拡大を見据えた体制で実施することにより、とても良い経験値を得ることができました。



3. 実施状況の総括

事業成果①

バドミントン練習会開催状況と札幌市中学生の参加状況

バドミントン練習会【会場：札幌開成中等教育学校(アリーナ・多目的ホール)】

- 10月(3回開催) 参加人数(延べ人数) → 30名
参加者在籍中学校 → 北陽中・栄町中・新琴似中・丘珠中・福移学園・札幌北中・
栄町中・八軒東中・丘珠中・明園中・東月寒中・上野幌中・
厚別南中・稲陵中・白石中
- 11月(4回開催) 参加人数(延べ人数) → 21名
参加者在籍中学校 → 北野中・北陽中・札幌北中・発寒中・稲陵中・新琴似中・八軒東・
柏中・明園中・栄町中
- 12月(4回開催) 参加人数(延べ人数) → 9名
参加者在籍中学校 → 稲陵中・栄町中・八軒東中・北野中・新琴似中・明園中
- 1月(3回開催) 参加人数(延べ人数) → 15名
参加者在籍中学校 → 平岡緑中・発寒中・稲陵中・北野中・明園中・新琴似中・
八軒東中
- 2月(4回開催) 参加人数(延べ人数) → 11名
参加者在籍中学校 → 宮の森中・中央中・平岡緑中・東月寒中・八軒東中・
稲陵中・明園中

バドミントン練習会【会場：札幌旭丘高等学校（アリーナ）】

10月(3回開催)	参加人数(延べ人数) → 23名 参加者在籍中学校 → 伏見中・向陵中・北陽中・新琴似中・北野中・宮の森中・羊丘中・八軒東中・東月寒中・新琴似北中・信濃中
11月(3回開催)	参加人数(延べ人数) → 17名 参加者在籍中学校 → 明園中・北陽中・札幌北中・発寒中・稲陵中・八軒東中・新琴似中・北野中・栄町中・柏中
12月(3回開催)	参加人数(延べ人数) → 21名 参加者在籍中学校 → 柏中・新琴似中・東月寒中・稲陵中・伏見中・八軒東中・南が丘中・宮の森中・発寒中
1月(4回開催)	参加人数(延べ人数) → 20名 参加者在籍中学校 → 札幌中・柏中・東月寒中・平岡緑中・稲陵中・新琴似中・北野中・八軒東中・向陵中・宮の森中・札幌北中・発寒中・中央中
2月(0回開催)	参加人数(延べ人数) → 0名 参加者在籍中学校 → なし

3. 実施状況の総括

事業成果①

バドミントン練習会開催状況と札幌市中学生の参加状況

バドミントン練習会【会場：札幌開成中等教育学校】

札幌市中学生 合計参加人数(延べ人数) → 86名

実施回数 → 18回

バドミントン練習会【会場：札幌旭丘高等学校】

札幌市中学生 合計参加人数(延べ人数) → 81名

実施回数 → 13回

バドミントン練習会 (2023年10月～2024年2月)

札幌市中学生 合計参加人数(延べ人数) → **167**名

実施合計回数 → **31**回

4 アンケート結果について

- ◆ モデル事業拠点校のバドミントン部顧問の教職員
- ◆ モデル事業拠点校のバドミントン部部員生徒とその保護者
- ◆ 札幌市立中学校の各バドミントン部部員を対象に、モデル事業に参加した生徒とその保護者

を対象に、アンケートを実施いたしました。

※昨年度同様にGoogleフォームを活用

今年度の地域部活動(バドミントン練習会)について、良かった点をお聞かせください。

- 専門的な技術を持っている顧問が少ないため、専門的な技術指導を受ける機会を設けていただき大変助かりました。また、生徒たちも今まで行ってこなかったトレーニングを行うことができ、充実しているようでした。
- 土曜日は『学校部活動』、日曜日は『地域部活動』と、すみ分けができ、大変助かりました。
- 専門的な指導を、大人数で受けることができる点

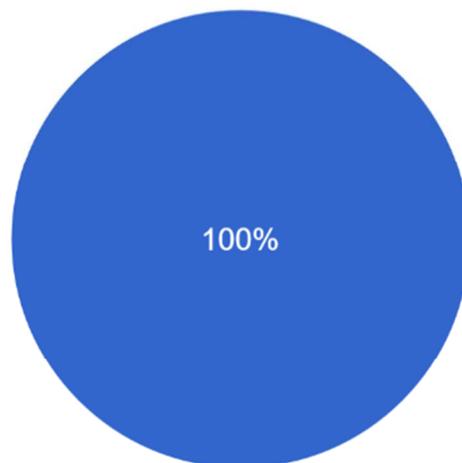
休日の部活動が教員の長時間勤務の一因となっていると言われますが、今年度の地域部活動を通して、改善は見られましたでしょうか？ご感想をお聞かせください。

- 土曜・日曜はやはり休みを取りたいので、大変助かりました。
- はっきりと改善されました。大変ありがたかったです。
- 土曜・日曜が無いということで、健康維持にも繋がり、大変ありがたかったです。

モデル校として今年度活動させていただきましたが、今後も継続を希望しますか？

4件の回答

内、1件は【テスト】として弊社が回答した内容のため、実質3件となります。

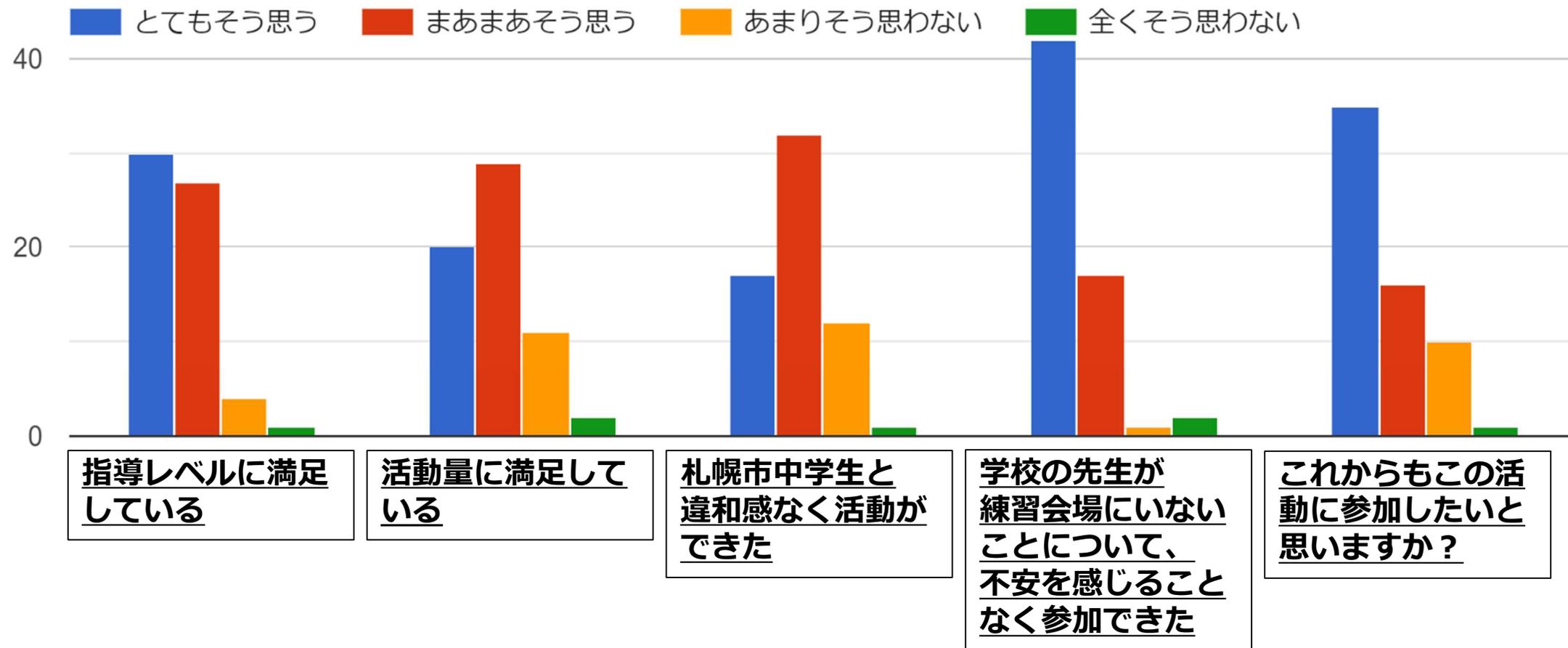


- 続けて欲しい
- 続けて欲しくない
- どちらでも良い

その他、本事業の運営面(運営責任者の対応など)についての感想や改善点を自由に記載してください。

- 何か生徒の些細な変化や不安な点など、こまめに共有していただき、大変助かりました。また、顧問の土日の負担が減り、大変助かりました。
- 定期的に練習内容を共有していただきたい。
また、先を見通した目標などがあると、より嬉しいです。

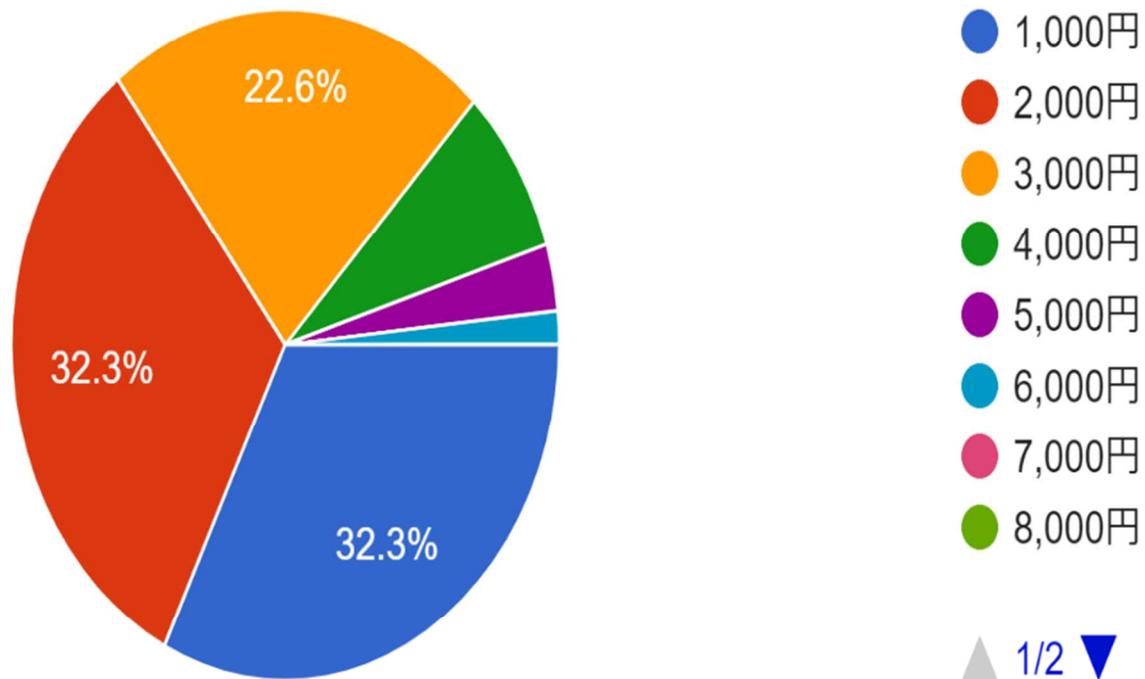
バドミントン練習会に参加した感想として、お考えに近いものを選んでください



将来的にこの活動が有料となった場合、1ヶ月あた...月4回程度の活動として。シャトル代も含む。)

62件の回答

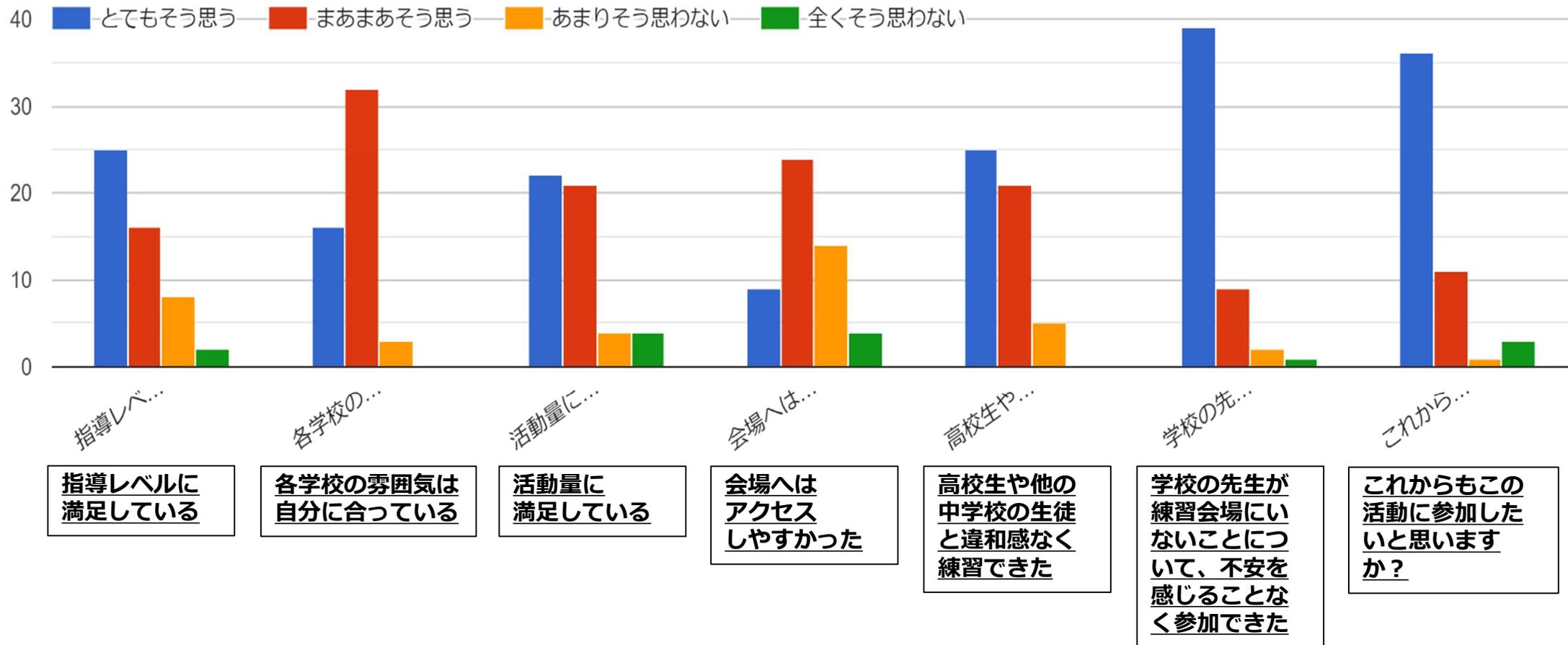
将来的にこの活動が有料となった場合、1ヶ月あたりどのくらいまでなら負担できますか？(毎週1回、月4回程度の活動として。シャトル代も含む。)



4. アンケート結果について

◆札幌市立中学校の各バドミントン部部員を対象に、
モデル事業に参加した生徒とその保護者 回答者：51名

バドミントン練習会に参加した感想として、お考えに近いものを選んでください

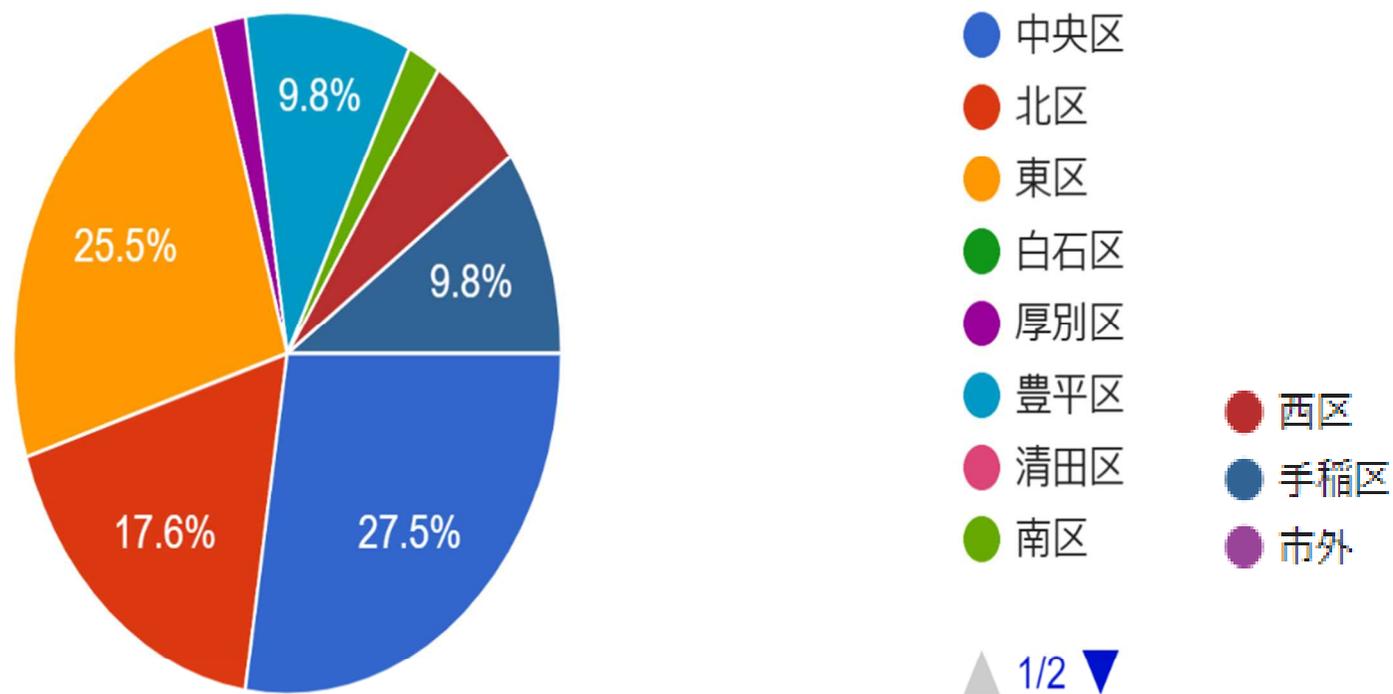


4. アンケート結果について

◆札幌市立中学校の各バドミントン部部員を対象に、
モデル事業に参加した生徒とその保護者 回答者：51名

居住区

51件の回答



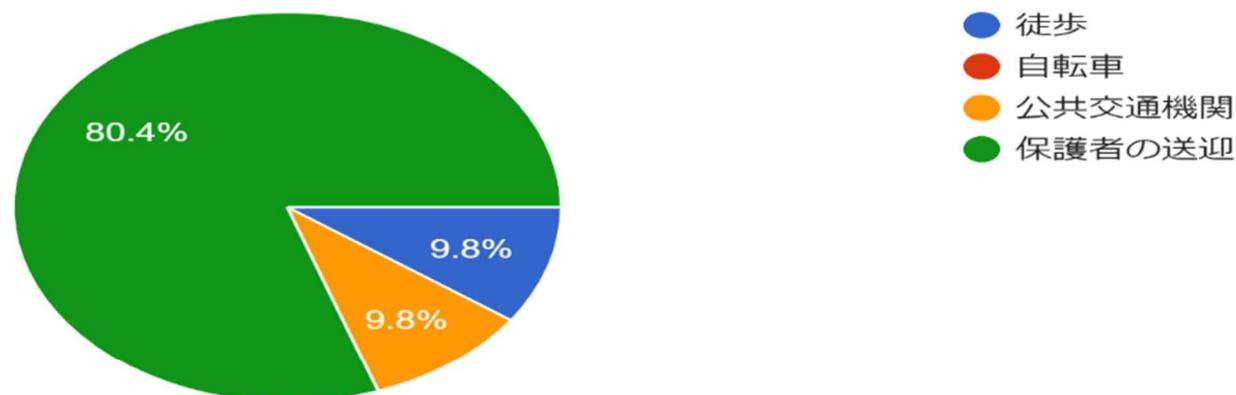
▲ 1/2 ▼

4. アンケート結果について

◆札幌市立中学校の各バドミントン部部員を対象に、
モデル事業に参加した生徒とその保護者 回答者：51名

練習会会場への移動手段

51 件の回答



将来的にこの活動が継続するとなった場合、会場はどのあたりが良いですか？

51 件の回答



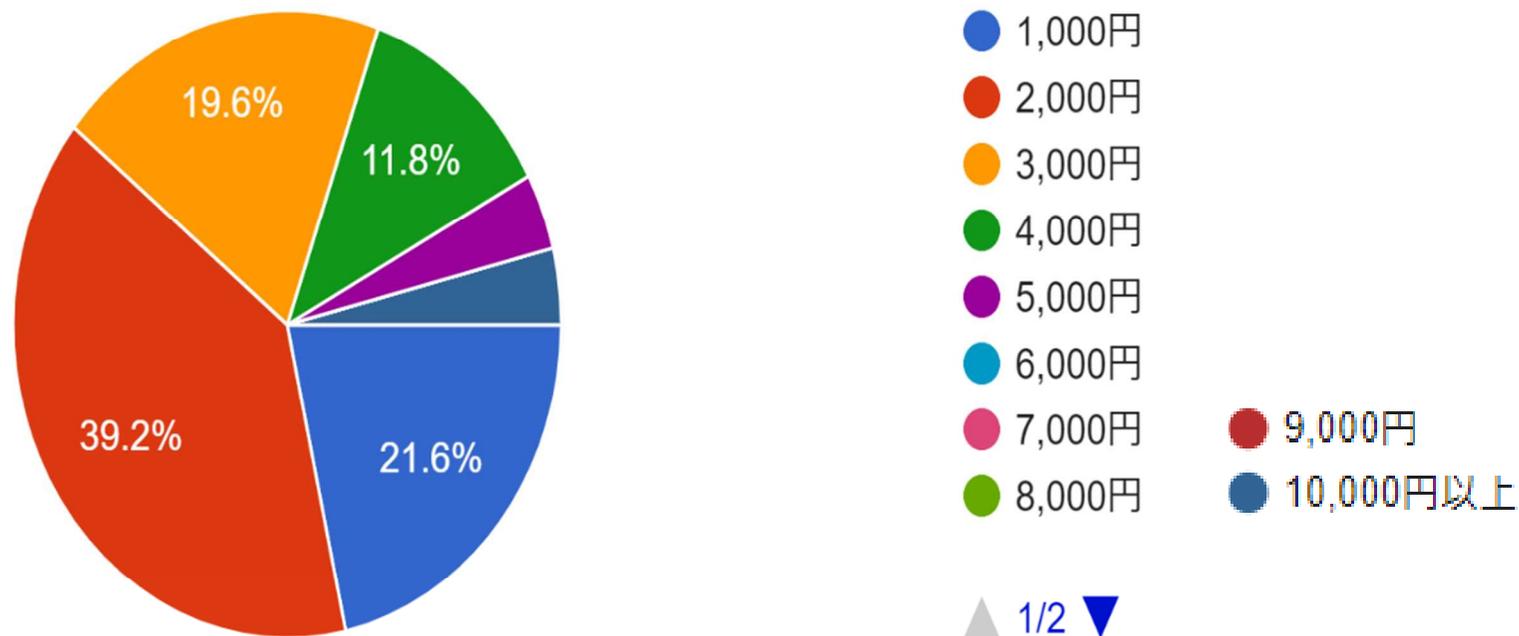
4. アンケート結果について

◆札幌市立中学校の各バドミントン部部員を対象に、
モデル事業に参加した生徒とその保護者 回答者：51名

将来的にこの活動が有料となった場合、1ヶ月あた...月4回程度の活動として。シャトル代も含む。)

51件の回答

将来的にこの活動が有料となった場合、1ヶ月あたりどのくらいまでなら負担できますか？(毎週1回、月4回程度の活動として。シャトル代も含む。)



5 今後の検討事項とまとめ

◆ 札幌市中学生の参加申込数と実際の参加数との相違

⇒自身の所属中学校の部活動の練習日(練習試合や大会も含む)と重なり、申込みをキャンセルする生徒が思いのほか多かった

◆ 拠点校の選定の重要性

⇒本事業の拠点校の2会場はどちらも高校だったこともあり、体育館も広く、ある程度の人数でも対応できたが、中学校の体育館となると、広さも限られ、人数を確保することが難しくなる。

⇒アンケートの回答にも記載があったが、『公共交通機関で通しやすい場所』をできる限りで選定した方がよい

◆ 日毎に参加者が変化することによる指導者への負担

⇒札幌市中学生の参加者が日毎に変わるため、その生徒たち1人1人の技量などを見定めてからレベル分けや活動内容を変化させていく必要がある。また、本事業の活動を重ねていく度に、参加者の把握が容易になり、内容が充実してきた矢先に半年が過ぎ、本事業が終了。

今後の地域移行に向け、内容の充実化を図るためにも、次年度は実施期間増やすことや、拠点校を増やし地域分けをするなど、仕組みを変更したモデル事業を実施していくのはいかがでしょうか。

①各中学校の顧問の先生の負担軽減

本事業を実施したことで、拠点校の顧問の先生の休日の負担軽減には繋がったと考えられるが、各中学校の顧問の先生の負担軽減には繋がっていない。

この拠点校方式を採用するのであれば、札幌市中学校の休日の部活動を中止にし、休日は各区ごとや地域ごとに運営管理責任者を配置し、地域部活動として実施していくなど、抜本的な変化が必要。

②活動場所の検討

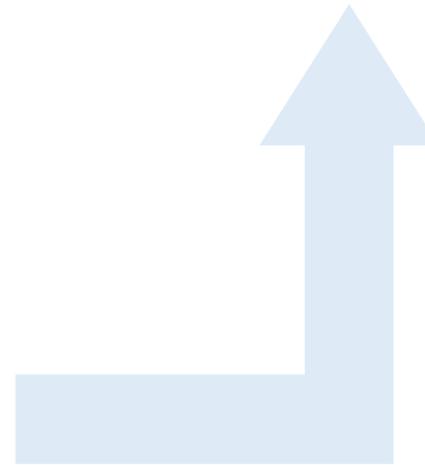
学校施設外での活動が可能となれば、より充実した内容と時間の確保に繋げることが容易となる。想定としては、区の体育館等公共施設の利用。みどりの管理課やスポーツ財団等の組織と連携し、地域単位で生徒の環境改善に繋げる仕組みを構築していきたい。

③運営管理責任者の確保

運営管理責任者の確保は規模拡大した際の最大の課題である。運営管理責任者の可能性を模索して、拡大した際のリスクや対策を検討する上でも、1名で管理可能な範囲を拡大する挑戦は事業の中で実施させていただきたい。

例えば同学校内で複数部活動を管理することは運営の質を落とさずに可能であり、例としては、体育館半面ずつの利用でバレーとバスケットを同時間内で管理することで、安全面や専門指導者の管理を1名の運営管理責任者で対応が可能である。このような形式を次年度のモデル事業の設計の際にはご検討いただきたい。

環境の変化に柔軟に適応できる事業スキームを構築し、持続可能な部活動モデルを確立していく。



今年度も約5か月間活動する中で、大きな怪我やトラブルなくモデル事業を終了することができました。本事業の中で、昨年度以前の経験をいかしつつ、より生徒のためを意識した運営を実施する中で、競技力向上について以外にも、精神的な成長のきっかけをたくさん作ってあげたく、様々なメッセージを生徒たちに発信することができました。

今年度の事業において、

**【部活動は、生徒の成長のきっかけがたくさん詰まった、
かけがえのない時間】**

であると、改めて実感いたしました。地域移行した際に、専門種目の技能や知識はもちろんです。教職員の皆様より、この場を預かる者の責任と役割はとて大きく、教職員に代わり生徒の心身を育成することのできる人材を配置することが重要であると感じます。学校・家庭・地域で連携し共働、「生徒を育てる」。そのような事業にしていけるよう、今年度の経験をいかし、地域部活動の理想の形を今後も追求していきます。

リーフラス株式会社

地域部活動推進事業担当

電話：080-6091-6766

メールアドレス：k-kaji@leifras.co.jp

担当者：梶 賢介